北海道遺産だより

NPO 法人北海道遺産協議会
北海道遺産情報紙 Vol. 7
2012 年 3 月 29 日発行

「北海道遺産だより Vol. 7」をお届けします

寒さの厳しかった今シーズンの冬。皆様いかがお過ごしだったでしょうか？

今年度後半も、協賛企業によるキャンペーン活動の数々、そして、ムラの宝物の募集と、継続した協議会活動を展開しています。今号も内容盛りだくさんでお伝えしますので、引き続き応援をお願いいたします。

活動報告 ― 北海道遺産を学ぶたび「石狩川と縄文人の漁業を学ぶ」実施

2011 年 10 月 10 日（月・祝）に、北海道遺産「石狩川」と「漁労」をテーマに、石狩市と江別市の学芸員の方の詳しい解説を聞きながら両市の縄文関連スポットを訪ね、縄文文化を学ぶツアーが行われました。

石狩市では、「紅葉山 49 号遺跡」の出土品が展示されている「いしかり砂丘の風資料館」を見学。石狩川周辺からは、サケを獲るために使われた道具が多数出土しており、こうした道具を使って大量に捕獲したサケは冬の保存食や交易の品として使われていたのではないかと言われています。

江別市では、「江別古墳群」「対雁 2 遺跡」「江別太遺跡」「江別市郷土資料館」を見学。

「江別古墳群」は北海道で唯一現存している古墳で、8 世紀後半～9 世紀前半に築造され、東北地方にみられる群集墳の流れをくむとされているそうです。「対雁（ついしかり）2 遺跡」は、現在発掘作業が進められている縄文時代晩期の遺跡で、今回は特別に発掘作業の様子を見学させていただきました。ここからは多くの土器や黒曜石が出土しており、今年度に入ってから髪飾りと思われる石製品も発掘されています。

次に訪れた「江別太遺跡」は、高速道路建設の際に発見されたもので、川の近くにあり、大量の地下水を排出しながらの作業は困難を極めたそうです。ここからは木製の柄の石ナイフなど重要文化財に指定された貴重な品も出土しています。

最後に、数百点に上る縄文土器が展示されている「江別市郷土資料館」へ。こちらには、大麻 3 遺跡から出土した 2 体の土偶も展示されています。この土偶は大英博物館で開催された土偶展にも出展されたもので、発掘された時は 2 体重なった状態で発掘されたそうです。大きい方は熊ではないかという説もあるそうです。

遺跡と歴史の話というと難しく感じるところもありますが、今回は、学芸員の方から発掘当時の写真等を交えながら詳しい解説を聞くことができ、数千年前の風景を思い浮かべながら非常に楽しい「学びの旅」となりました。



▲「いしかり砂丘の風資料館」収蔵の“えり”と呼ばれるサケを獲るために使われた道具



▲「江別古墳群」



▲発掘作業が進められている、「対雁（ついしかり）2 遺跡」



▲髪飾りと推測される発掘された石製品



▲数百点の縄文土器が展示され、時代ごとの土器の変化がわかる「江別市郷土資料館」



▲大麻 3 遺跡から出土した 2 体の土偶

地域のうごき ― NPO 法人ピアソン会が北海道文化財保護功労賞を受賞

北見市指定文化財であり北海道遺産の「ピアソン記念館」を市の指定管理者として保全している、NPO 法人ピアソン会が、北海道文化財保護協会功労賞を受賞しました。

長年にわたり北見市の文化財であるピアソン記念館の保存に協力し、ピアソン夫妻の業績を後世につたえようとする活動が認められたものです。

同会は今後も国内外で収集された多くの資料を解明するなど、さらに活動を前進させていきたいと決意を新たにしています。

NPO 法人ピアソン会ホームページ　→　http://www.npo-pierson.org/

地域のうごき２ ― 太陽北海道地域づくり財団　平成 24 年度助成事業決定

２月 10 日（金）、太陽北海道地域づくり財団の平成 24 年度助成対象団体への贈呈式および交流会が行われました。

太陽北海道地域づくり財団（以下太陽財団）は、北海道における自然・歴史など、地域固有の資源の保全・活用や文化・スポーツの振興などを通じた、地域づくりの活動に対して支援を行っており、平成 13 年の設立以来、これまでに約 190 件、総額１億５千万円以上の助成が行われ、それにより道内各地での地域づくり活動が推進されました。

平成 24 年度の助成対象事業は 19 事業で、北海道遺産に関わる事業も下記の４団体が助成対象事業となりました。

この貴重な支援を元に、ぜひ各地域で魅力ある地域づくり活動を進めていただきたいと思います。





＜助成対象事業のうち北海道遺産関連地域の事業・団体＞

- 奔別立坑・周辺施設の解体回避に向けた「残すの賛成！」プロジェクト
  （特定非営利活動法人炭鉱の記憶推進事業団／岩見沢市）
- 馬産地の魅力体験事業（親子で学ぶ馬産地モニターバスツアー／のんびりの大地フォトコンテスト）
  （日高町地域づくり推進協議会／日高町）
- 北海道遺産森林鉄道蒸気機関車「雨宮２１号」の歴史保存と新しい魅力の発掘
  （夢里塾（ムリジュク）／遠軽町）
- 美しき唄のまち・炭鉱の記憶ストーリー～次世代への炭鉱の歴史を語り継ぐ～
  （美唄青年会議所／美唄市）

キャンペーン ― フレーム切手「北海道遺産」シリーズ発売中

現在、郵便局株式会社様でフレーム切手「北海道遺産」をシリーズで発売していただいております。

毎回、季節等に配慮しながら、北海道遺産の写真（各回 10 件程度）がデザインされており、昨年、10 月に発売開始された第４弾で、北海道遺産 52 件全てが切手となりました。

第３弾までは 3,000 シート、第４弾は 1,500 シートの限定販売となっておりますので、お早めにお買い求めください。

＜北海道遺産フレーム切手＞

- 制作、発行：　郵便局株式会社北海道支社
- 部　数：　第１弾～第３弾　3,000 部
  第４弾　1,500 部
- 売　価：　1,200 円　※全道の郵便局窓口で発売



第１弾（平成 22 年 12 月発行）



第2弾（平成 23年２月発行）



第3弾（平成 23年6月発行）



第4弾（平成 23年 10 月発行）

おでかけガイド ― 北海道遺産・ムラの宝物関連イベントなど

松前さくらまつり（松前町）

４月下旬から５月下旬までの１か月間にわたり、早咲き・中咲き・遅咲きと「時差開花」で桜が楽しめます。期間中は様々なイベントも。

- 期間：４月 29 日（日・祝）～５月中旬
- 場所：松前町各所
- 問合せ：松前町ツーリズム推進協議会
  （0139-42-2726）

最新情報は、下記をご覧ください。

北海道松前藩観光奉行ホームページ

→　http://www.asobube.com/



北の土偶展（札幌市）

函館市で発掘された「中空土偶」をはじめ、北海道・東北で発掘された土偶の数々が展示されています。

- 期間：３月６日（火）～５月 13 日（日）
- 場所：北海道開拓記念館特別展示室
  （札幌市厚別区厚別町小野幌 53-2）

詳細は、下記をご覧ください。

北海道開拓記念館ホームページ

→　http://www.hmh.pref.hokkaido.jp/

女だけの相撲大会（福島町）

福島町鏡山公園相撲場を舞台に女性たちの相撲大会が繰り広げられます。

威勢の良い取り組みに、見るものも引き込まれます。

- 日時：５月１３日（日）　９：30～
- 場所：福島町鏡山公園相撲場
  （松前郡福島町字福島 239 ）
- 問合せ：福島町観光協会（0139-47-3004）

事務局だより

ムラの宝物 ー「ほっかいどうムラの宝物さがしプロジェクト」応募受付中！

広い北海道にはまだまだ多くの「宝物」が眠っているはず。そうした宝物を「ムラ（人々の集まりや集合体のことを表しています）」の誇り、魅力の種として活用していこうというのが「ほっかいどうムラの宝物さがしプロジェクト」です。

このプロジェクトは決して北海道のナンバーワンやオンリーワンを集めようとするものではありません。まちの人々の視点から、まちの自慢をご応募いただければOK！

応募は随時受け付けていますので、ぜひ皆さんも自分の「ムラ」に眠っている「宝物」をご応募ください。

応募から登録までの流れは下記ウェブサイトをご覧ください。

→ http://www.hokkaidoisan.org/muranotakara/contribution/

いままでに登録された宝物

＞第１次登録



士別産サフォーク

＞第２次登録



駄菓子感覚「やきそば」

＞第３次登録



石炭ざんぎ

岩内町マスコットキャラクター「たら丸くん・べに子ちゃん」



＞第４次登録

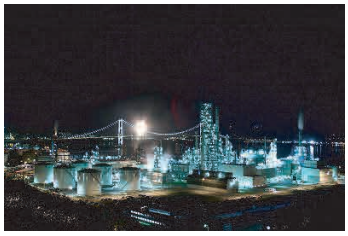


薪バス「まき太郎」



別海ジャンボ牛乳＆別海ジャンボホタテバーガー

＞第５次登録



工場夜景

チーズ専門工場発祥の地



★編集後記★

今年の冬は急な大雪で、交通麻痺や建物の崩壊など大変な年となりました。道内各地の北海道遺産関連施設も老朽化が進んでいるものもあり雪の影響が心配されます。

そうした、遺産の保全のためにも、地域の皆さんに遺産について知っていただき、地域の資源として認識してもらうことが大切ですね。

周知活動に注力されている遺産地域のみなさまを今後もサポートしていきたいと思います。

NPO 法人北海道遺産協議会
〒060-0001　札幌市中央区北１条西５丁目北一条ビル５階
TEL：011-218-2858／FAX：011-232-4918
E-mail：info@hokkaidoisan.org　HP：http://www.hokkaidoisan.org/
ブログ：http://hokkaido13.exblog.jp/　ツイッター：http://twitter.com/hokkaidoisan